

I 調査対象総括

問1 調査対象者の生年月日

(単位：名)

年 号	人数	年 号	人数		
明 治	178	昭 和	2 年	29	
大	1 年		29	3 ヶ	11
	2 ヶ		80	4 ヶ	3
	3 ヶ		94	昭和計	43
	4 ヶ	106	未 記 入	6	
	5 ヶ	101			
	6 ヶ	140			
	7 ヶ	124			
	8 ヶ	170			
	9 ヶ	260			
	10 ヶ	291			
	11 ヶ	297			
	12 ヶ	363			
	13 ヶ	340			
	14 ヶ	371			
	15 ヶ	92			
大正計	2,858	合 計	3,085		

抑留者の中に明治生まれが全体の5.8%に及び、終戦当時34才以上の方が3,085名中178名もいたということである。

大正14年生まれが最も多く12.0%次いで12年、13年、11年の順でそれぞれ11.8%、11.0%、9.6%の順となっている。

昭和生まれは4年が最年少で当時16才で志願の少年兵、開拓団の方たちと思われる。

問 2 強制連行前の職業

(単位：名)

軍人(士官)	133	教 員	
軍人(下士官)	591	自 営 業	
軍 人 (兵)	2,107	義 勇 軍	
軍人(候補生)	169	会 社 員	
軍 属	32	学 生	
農 業		官 公 吏	
団 体 職 員		満鉄・満業職員	
開 拓 団	12	そ の 他	41
		計	3,085

軍人の他は軍属1.0%、開拓団0.4%、その他1.3%のみであった。

問3 強制連行前の居住（駐屯）地

(単位：名)

居住地	人数	地域名 (記入者のみ)
満州	2,262	奉天、四平、新京、錦県、鞍山、東安、延吉、孫呉、黒河、撫順、図們、吉林、東寧、通化、掖河、琿春、琿琿、鶏寧、横道河子、五叉溝、音徳爾、公主嶺、牡丹江、綏芬河、八面通、佳木斬、東京城、チチハル、ハルピン、ハイラル
朝鮮	370	元山、平壤、羅南、咸鏡、定平、富坪、南陽、宣徳、古茂山、新義州、雲務嶺、三合里
北支	36	泰安、綴頭石、開封
千島	360	択捉島、占守島、色丹島、松輪島、得撫島、幌筵島
樺太	19	本斗、上敷香、気屯
その他	14	
未記入	24	
計	3,085	

強制連行前の居住（駐屯）地については、満州がほとんどで全体の73.3%、次いで朝鮮、千島となっている。

主力は関東軍であった。

問4 入隊前に生活していた所

(単位：名)

内地	2,482	その他	24
満州	518	未記入	16
朝鮮	45	計	3,085

入隊前に生活していた所は、内地が80.5%、満州在住で入隊した者は16.8%となっている。

内地の都道府県別内訳

(単位：名)

府県	人数	府県	人数	府県	人数
北海道	28	石川	54	岡山	16
青森	3	福井	22	広島	168
岩手	221	山梨		山口	13
宮城	5	長野	5	徳島	
秋田		岐阜	41	香川	1
山形	1	静岡	47	愛媛	1
福島	171	愛知	39	高知	
茨城	8	三重	6	福岡	37
栃木	101	滋賀	47	佐賀	1
群馬	7	京都	50	長崎	4
埼玉	4	大阪	89	熊本	73
千葉	236	兵庫	146	大分	2
東京	137	奈良		宮崎	3
神奈川	44	和歌山	67	鹿児島	
新潟	528	鳥取	34	沖縄	14
富山	6	島根	2	計	2,482

問5 入隊前に就いていた職業等

(単位：名)

軍 属	官 公 吏	農 業	教 員
172	302	889	52
会 社 員	開 拓 団	義 勇 軍	団 体 職 員
1,003	97	50	48
自 営 業	学 生	そ の 他	計
302	63	107	3,085

入隊前の職業は会社員、農業が最も多く夫々32.5%、28.8%となっており、官公吏、自営業が同率の9.8%となっている。

問6 強制連行前の家族構成

(単位：名)

区 分	戸 主	そ の 他	計
家族と同居	532	534	1,066

区 分	既 婚	未 婚	計
単 身	324	1,676	2,000

未 記 入
19

合 計
3,085

問7 あなたは強制連行までの間にソ連との戦闘に参加しましたか

(単位：名)

参 加	不 参 加	計
977	2,108	3,085
31.7%	68.3%	100.0%

ソ連との戦闘に参加していない者が多い。

問 8 武装解除地

(単位：名)

解除地	人 数	地 域 名 (記入者のみ)
満 州	2,261	奉天、図們、新京、孫吳、吉林、敦化、海林、延吉、錦県、黒河、安東、方正、北安、琿春、琿琿、鞍山、遼陽、石頭、金蒼、チチハル、ハルピン、ハイラル、牡丹江、東京城、公主嶺、四平街、間島、博克図、興安嶺、鏡泊湖、佳木斯、音徳爾、横道河子、通化
朝 鮮	341	元山、平壤、羅南、興南、咸興、会寧、定平、義州、明川、羅津、富寧、連浦、基州、ホーリー (注)、三合里、古茂山、新安州、新義州、咸鏡南道 (注)
北 支	8	
千 島	344	得撫島、色丹島、松輪島、択捉島、幌筵島、占守島、中千島 (注)
樺 太	26	豊原、大泊
そ の 他	105	
計	3,085	

(注) 地域名は不明確であるが、確認できないので、回答者の回答どおり記載した。

問9 中間集結地（大隊編成地）

（単位：名）

東 部 滿 州	拉古	海林	東京城	蘭崗	金蒼	延吉
	61	156	38	16	36	140
	佳木斯	牡丹江	掖河	敦化	その他	計
	48	357	41	95	110	1,098

北 部 滿 州	孫呉	北安	綏化	ハルピン	嫩江	チチハル
	98	25	4	59	17	133
	博克図	ハイラル	その他	—	—	計
	14	34	52	—	—	436

中 部 ・ 南 部 滿 州	吉林	新京	公主嶺	四平	奉天	鞍山
	57	122	72	102	277	28
	海城	錦県	承德	その他	—	計
	21	27	18	26	—	750

北 朝 鮮	三合里	秋 乙	美 靺 洞	古 茂 山	宣 德	富 坪
	92	11	3	62	11	11
	五老里	興 南	そ の 他	—	—	計
	6	67	51	—	—	314

樺 太 ・ 千 島	豊 原	大 泊	上 敷 香	幌 筵 島	占 守 島	松 輪 島
	13	10	5	23	53	69
	得 撫 島	色 丹 島	択 捉 島	そ の 他	—	計
	44	27	84	23	—	351

未 記 入	136
-------	-----

合 計	3,085
-----	-------

問10 入ソのための経由地

(単位：名)

満州	琿 春	綏芬河	松花江	黒 河	満州里	その他	計
	172	464	88	684	397	257	2,062

北朝鮮	興 南	クラスキー	その他	—	—	—	計
	211	66	52	—	—	—	329

樺千 太島	大 泊	半 田	占守島	その他	—	—	計
	119	3	51	120	—	—	293

未記入	401
-----	-----

合 計	3,085
-----	-------

問11 入ソの方法 (該当するものすべての番号を○で囲んでください)

複数回答 (単位：名)

鉄 道	船 舶	自動車	徒 歩	その他	未記入	計
2,130	865	167	1,062	12	16	4,252

その他の項目の中には馬及び馬車が含まれる。

問12 最初の大隊名、収容所及び所在地名を記入してください

1 記入者のみ記載

2 大隊名については記載内容に原隊名とみられるものもあるが、区分は困難なため、アンケートに記載されたものをそのまま集計した。

所在地名	人数	収容所名	大隊名
マガダン州			
マガダン	20	マガダン収容所	海軍大隊
沿海地方			
ウオロシロフ	63	第14・ラゾ ウオロシロフ収容所	第562大隊、歩兵291連隊 第103大隊、553大隊、第556大隊、 伊藤隊
		—	922部隊、小沢大隊、107連隊
ウラジオストック	30	第8・10レンバーサ	襲第4298部隊
アルチョム	18	アルチョモスク収容所	第24大隊、第158砲兵大隊、阿部 大隊、第19大隊、第12401部隊
ムラビエフカ	1	第15	—
ナホトカ	17	—	第14大隊
スイソエフカ	9	第568 —	豊浦部隊 第570大隊、第16大隊
イマン	8	イマン収容所	第9大隊、第16大隊、川守田中隊
ボセツト	3	ボセツト収容所	西牧大隊
スーチャン	18	チグロワヤ収容所	656大隊、中野大隊
セミヨノフカ	12	—	第18大隊、四平混成隊
ミハイロスキー	4	—	第148大隊
タウリチャンカ	5	—	林作業大隊
スバスコエ	4	—	第2大隊、第209大隊
ウスリー	3	—	第557大隊、矢萩大隊

ハラザ	2	—	第560大隊
ニューベルスカヤ	4	—	第148大隊
ノボリンスク	4	—	第54作業大隊
チャイノゴルス カヤ	4	—	第981部隊
スコボネジ	4	—	野末大隊、第18連隊
ハバロフスク地方			
ハバロフスク	115	ハバロフスク第5・6・16・17分所 第21分所・ネーブルスカヤ テイルマ・サンガラドック・オボ ール ソフガワニ・ムーリー第1分所 第20 第4・9・10・13分所 —	会寧歩兵第9中隊 三大隊、千葉大隊 方正824部隊、歩兵265大隊 木村大隊、第10大隊 6262部隊 志村大隊、吉田隊、依田隊、小川 隊
コムソモリスク	129	第4・5・12・14・18・301分所 第2・13・403・411分所 第7・201・ホルモリン・バルボ ン — 第1 —	63労働大隊、上原大隊 松原大隊、峰21162部隊 間島作業大隊、竹中大隊、青木大 隊 第10大隊、216大隊 催12645部隊 千島808大隊、岡本大隊、石川隊 938部隊
ホルモリン	18	第150・305・307 30・108分所 —	第150大隊 第55大隊 第205大隊
ムーリー	26	ムーリー収容所・第19・24 21・110・208分所 —	曾武大隊、448部隊 間島第9大隊 第419大隊
ソフガワニ	39	第108・530・815分所 — 第2・3分所	第529作業大隊、小出部隊 第21大隊、第3大隊、三原隊 第158大隊、大橋大隊、大森大隊
スルシャンカ	2	—	混成421大隊
ニコライ	1	ニコライフスク収容所	
ピロビシャン	15	201収容所	大岸隊、杉山大隊

テルマ	14	—	第13大隊、102大隊、第125大隊、石井大隊、安達大隊
ポートワニナ	6	—	—
ホール	2	—	第101大隊
モシカ	3	—	—
ヤクトニヤ	5	—	—
ドルミン	1	ドルミン収容所	527大隊
ワニノ	1	—	529大隊
サンガラドック	2	—	—
ニコライエフスク	9	—	第8221部隊
ポートワニ	4	トムニン収容所 チピサル 第817	独立混成第41連隊 小出部隊

アムール州

イズベストコーワヤ	26	第16・201・404分所 ヤグトミヤ308・アノラップ115	金内大隊、増田大隊 122大隊、独立歩兵419
ブラゴエシチェン スク	21	ブラゴエチェンスク収容所	194独立整備隊・第20大隊、13114 部隊、第11大隊
ライチハ	51	ライチハ収容所・第19・第119 ウヤッカ収容所	142大隊、斉藤大隊、戸原大隊、 大西大隊、第6大隊 野砲824大隊
クイブシェフカ	3	—	熊谷大隊、山中大隊

チタ州

チタ	82	第2・24・37・ナレーム ヤブノロワヤ・ダラスン 第1・3・23 第10・シャフトマ・ハラグン シワキ	第212飛行大隊 第11・59・481・515大隊 第516・520大隊 第161大隊、海城第5大隊、第18 ・516大隊 第1・6・79大隊、第264部隊、 第519大隊、第2687、藤部隊、第8393
ブカチャーチャ	9	—	—
ジブヘーゲン	2	—	第17・512大隊
ハタブラーク	6	—	第1大隊
バレー	3	—	—

ブリヤート自治共和国

ウランウデ	37	第1・シャープル収容所・延吉収 容所	第3・5・10・512大隊
-------	----	-----------------------	---------------

第3炭坑

940部隊

イルクーツク州

イルクーツク

78 —

ウソリー第7

第7大隊

第22大隊、混成大隊

リショート第102

柿本大隊、57大隊

ボダルブハイ第11

孫呉大隊、松野隊、早川大隊

タイセツト

89 —

第25大隊、第31大隊

40 第4・5・7・41・85

第250大隊、中島大隊

第8・9・17・18・22

第251大隊、第514大隊

ネーブルスカヤ・ウブグン

第3319大隊、第114大隊、大森大隊、
河野隊、第620中隊

バイカル

2 —

第97大隊

チェレンホーボ

41 チェレンホーボ

第2大隊、第81大隊

マカレオ第4

373

グリシヤ

ジマー

3 —

第8航空大隊・前川隊

クラスノヤルスク地方

クラスノヤルスク

60 第2・3・8

第566大隊、第603大隊、
原田大隊、熊谷大隊

アバカン

第1467大隊、福沢大隊

マカリオ

2 マカリオ収容所

石野大隊、迫撃第15大隊

ケーメルボ州

スターリンスク

2 —

—

アンゼルスカヤ

2 アンゼルスカヤ収容所

公主嶺13大隊

ピースク

2 —

—

バルナウル

16 —

佐藤大隊

ロストフカ

4 —

河野大隊

アルタイ地方

アルタイスカヤ

5 —

第494部隊

レーニンスク

7 —

第503大隊

タタール自治共和国

エラブカ

10 エラブカ収容所

チチハル12大隊、花田大隊

カザフ共和国

バルハシ

4 バルハシ収容所

鈴木大隊、第135旅団

カラガンダ	73	9 番区 6 分所・第 2・第 9 バフタラアル第 12・16・8・9 ——	奉天第 19 大隊 奉天高射砲大隊、第 15 大隊 第 2・19・44・201 大隊、有友大隊
カザフスタン	10	——	第 215 部隊
ジスカズカン	4	——	昆野大隊
ウスチカメノゴル スク	9	——	久野大隊・槍部隊
アルマータ	40	アルマータ収容所第 3・11 ザンブウ収容所	第 3・13 大隊、大和大隊、藤部隊 柴田大隊
ウズベク共和国			
アングレン	25	第 2・24 アンプルト収容所 バラビヤンカ・ベークワード ——	第 6・234 大隊、ハイラル 2 大隊 97 飛行大隊、近藤大隊、北山大隊 第 2・35 大隊
ウズベク	12	アングレン第 1・3 大隊 ベグアード第 4	97 飛行大隊 新京警備第 2 大隊、武市大隊
タシケント	53	第 1・2・5・8・11・288	第 27 大隊、真崎大隊、大家隊、 藤 6865 部隊
グルジア共和国			
クタイスキー	1	クタイスキー収容所	——
モンゴル			
ウランバートル	29	ハラジブロン収容所 ウランバートル収容所	公主嶺第 3・4 作業大隊、吉村隊 鈴木大隊
ウクライナ共和国			
ウクライナ	8	パティマ・ウクライナ収容所	91 師団
スラビヤンスク	3	スラビヤンスク収容所	第 4・14 大隊、五井大隊
モスクワ付近			
マルシャンスク	14	——	将校大隊
ラーダ	12	——	将校大隊
千 島			
択捉	6	サルワッカー第 10 セセキ	重富部隊 第 550・551 大隊
朝 鮮			
三合里	20	三合里収容所	第 116 大隊、三合里作業大隊、 第 22 大隊、6262 部隊、 247 野砲、第 34207 部隊、 西牧大隊

咸興

1 咸興収容所

迫撃第15人隊

満州

チチハル

2 チチハル収容所

作業4人隊

延吉

1 延吉収容所

第20大隊

拉古

1 拉古収容所

—

問13 移動した収容所の数

(単位：名)

移動数	人 数	%
1 ヶ 所	782	25.3
2 ヶ 所	694	22.5
3 ヶ 所	688	22.3
4 ヶ 所	335	10.9
5 ヶ 所	449	14.6
未 記 入	137	4.4
計	3,085	100.0

問14 帰還直前の収容所名

収容所名	件数	収容所名	件数
アシノラーゲル	1	ウハー	2
アーチンスク	2	ウラジオストック	51
アバカン	7	ウランバートル	26
アルマータ	20	ウランウデ	30
アルチョム	22	ウルガリヤ	4
アルタイスカヤ	3	ウラル	2
アノラップ	1	ウルガル	1
アムール	2	ウヤッカ	1
アムライト	1	エラブカ	24
アロチカ	2	掖河（満州）	1
アングレー	15	恵須取（樺太）	2
アンゼルスカヤ	8	オキヤンスカヤ	4
アントノフカ	1	カザン	5
イズベストコーワヤ	18	カザフスタン	11
イジュン	1	カダラ	3
イルクーツク	54	カラガンダ	71
イマン	3	カラングイ	5
インボー	1	カラタオ	1
ウオロシロフ	45	カルジシカ	1
ウクライナ	11	カングスク	3
ウズベク	2	キューダ	1
ウスリー	3	クイブシェフカ	1
ウスチカメノゴルスク	9	クタイスキー	1

収容所名	件数	収容所名	件数
クラスノヤルスク	41	スルジャンカ	5
クラスノボードスク	3	スタルト病院	1
クラマトールスク	1	スプヤン	1
グリシヤの丘	1	清津（北朝鮮）	2
クリドウル	1	セトーハ	1
グジル	2	セミパラチェンスク	1
ケーメルボ	5	セミヨノフカ	4
古屯（樺太）	3	セルゲーフカ	2
興南（北朝鮮）	9	ソウスカヤ	1
ゴーリン	6	ソセイフカ	3
コムソモリスク	91	ソフガワニ	14
サゴスタイ	2	ソボロビスク	1
ザジョリニア	1	タイセット	78
三合里（北朝鮮）	3	タウリチヤンカ	5
ジプヘーゲン	4	タシケント	38
ジマ	2	タンガロン	1
シンガル	1	タンポフ	4
シマコフカ	1	チェルノスカヤ	6
シハイロフカ	1	チェレンホーボー	22
シヤフタマ	1	チグロワーヤ	8
スイゾーフカ	7	チキリ	2
スコボロジー	2	チカロフ	1
スーチャン	20	チタ	57
スターリンスク	6	チチハル（満州）	1
スミノフカ	7	チッパリー	2
スパースク	4	チヤガハラン	1
スベロドロスク	5	チロプロオーゼロ	2

収容所名	件数	収容所名	件数
ツウ	1	ヒロク	3
ヅナイ	1	ビロビジャン	11
デリヤノスク	2	ビユスコ	1
テルマ	21	ピワニ	1
ドナイ	1	ブカチャチャ	9
トビリシ	2	ブエンキ	2
ドーキ	1	ブラーツク	2
トムニー	1	ブラゴエシチェンスク	11
トリトロニ	1	撫順（満州）	1
ナホトカ	223	プラスノスカヤ	1
ニコライエフスカヤ	5	ブヤンコフ	1
ニューブルスカヤ	4	プログレス	1
バキスタン	1	プロコペンスク	1
パタル	2	ベグワード	11
ハバロフスク	121	ペトロフスク	4
パタルヴェイハ	1	ベラウスク	1
バーム	2	ベラソフカ	4
バフタラール	1	ボシエット	2
パボロフカ	1	奉天（満州）	1
バルナウル	13	ボダルブハイ	1
バルハシ	4	ポートワニナ	2
パレチャヤ	1	ボランチャー	1
バラチオ	1	ホルモリン	20
ハリコフ	1	ホール	2
ハラゴン	2	ボルノール	2
ハルピン（満州）	1	真岡（樺太）	7
ハンタギー	2	マガダン	19

収容所名	件数	収容所名	件数
マカリオ	1	第8収容所	1
マーリンキモスコー	1	第17収容所	1
マルシャンスク	15	第33収容所	1
マルタ	10	第41収容所	1
マンゾフカ	3	第102収容所	1
ミハイロフ	3	第115収容所	1
ムーリー	20	第123収容所	1
ムラビエフカ	1	第216収容所	1
モスクワ	1	第288収容所	1
モシカ	1	第303収容所	1
ヤクドニヤ	5	第806収容所	1
ヨロベ	2	110K収容所	1
ライチハ	36	第51分所	1
リポック	1	第53分所	1
留久志(樺太)	2	第201分所	1
ルフソフカヤ	1	第567労働大隊	1
レチホフカ	1	第569労働大隊	1
レニナゴルスク	1	第110病院	1
レニンスク	3	第30保育中隊	1
レンバーザー	1		
ロガン	1		
ワニーナ	1		
ラチウハ(北朝鮮)	1		
北朝鮮病院(ク)	1		
第3収容所	2		
第4収容所	3		
第5収容所	1		

問15 帰還のため最終に出港した港

(単位：名)

ナホトカ	コロ島	大連	興南	真岡	その他	未記入	計
2,984	4	2	41	24	19	11	3,085

問16 内地へ帰還したときの港

(単位：名)

舞鶴	函館	博多	佐世保	小樽	その他	未記入	計
2,892	114	5	57	1	4	12	3,085

ほとんどの者がナホトカ出港（96.7%）、舞鶴上陸（93.7%）である。

問17 入ソの年月日

(単位：名)

昭和 20 年	8月	9月	10月	11月	12月	月日不明			計
	207	1,091	818	446	203	120			2,885

昭和 21 年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	
	29	9	17	31	19	27	10	10	
	9月	10月	11月	12月	月日不明				計
	5	4	4	1	11				177

昭和 22 年	1月	2月	3月	4月	5月	6月以降	月日不明		計
					1				1

未記入	22
-----	----

合計	3,085
----	-------

入ソは昭和20年に集中的に行われた（93.5％）。

特に、昭和20年9月及び10月に1,909人（61.9％）が入ソしている。

問18 帰還の年月日

(単位：名)

昭和21年	計	79
-------	---	----

昭和22年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
	38	5	10	78	105	82	60
	8月	9月	10月	11月	12月	未記入	計
	99	86	143	166	59		931

昭和23年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
	3	3	1	9	119	156	149
	8月	9月	10月	11月	12月	未記入	計
	134	172	178	158	112	5	1,199

昭和24年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
	2		1	1	5	27	140
	8月	9月	10月	11月	12月	未記入	計
	169	147	156	65	36	6	755

昭和 25 年	1月	2月以降	未記入	—	—	—	計
	11	67	15	—	—	—	93

未記入	28
-----	----

合計	3,085
----	-------

ほとんど昭和24年までに帰還しているが、昭和25年以降に帰還した人たちが93名（3.0%）おり、中には中国駐屯時代の戦犯容疑で中国に送還され、抑留された人も若干いた。

問19 帰還後の居住地を記入してください

(単位：名)

府 県	人 数
北 海 道	40
青 森	6
岩 手	279
宮 城	3
秋 田	2
山 形	5
福 島	208
茨 城	12
栃 木	126
群 馬	7
埼 玉	8
千 葉	297
東 京	37
神 奈 川	7
新 潟	679
富 山	7
石 川	87
福 井	34
山 梨	1
長 野	19
岐 阜	77
静 岡	84
愛 知	3
三 重	9

府 県	人 数
滋 賀	82
京 都	68
大 阪	56
兵 庫	150
奈 良	2
和 歌 山	111
鳥 取	66
鳥 根	3
岡 山	36
広 島	248
山 口	17
徳 島	2
香 川	5
愛 媛	2
高 知	—
福 岡	60
佐 賀	1
長 崎	1
熊 本	101
大 分	4
宮 崎	30
鹿 児 島	3
沖 縄	—
計	3,085